禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

D21

「中央職業能力開発協会編」

令和７年度 技能検定
３級 左官 学科試験問題
(左官作業)

1. 試験時間　1時間
2. 問題数　30題
3. 注意事項
   (1)　係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2)　答案用紙(真偽法用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3)　係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。
   (4)　試験開始の合図で始めてください。
   (5)　解答の方法(真偽法)は次のとおりです。
   イ.　一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
   ロ.　答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
   ハ.　答案用紙の解答欄は、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄は100題まで解答できるようになっています。
   (6)　電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7)　携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8)　試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9)　試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10)　試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11)　試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

1　次図は、下げ振りである。



2　ウインチは、一般に、重量物の上げ下ろしに使用する機械である。

3　平滑なコンクリート系下地では、セメントモルタルの付着を良くするために目荒しを行うとよい。

4　ALCパネルは、セメントモルタルの厚塗り仕上げに適している。

5　つけ代墨は、逃げ墨から仕上げの基点を換算して打つ墨である。

6　陸墨は、天井、床、梁などの高さを求めるための基準となる墨である。

7　漆喰塗りの上塗り材には、すさを入れる必要はない。

8　せっこうボード下地は、セメントモルタル塗り仕上げとする。

9　現場調合セメントモルタルの練混ぜは、セメントと細骨材を空練りしてから、水を加えて練り合わせる。

10　セメントモルタル塗りの上塗りの調合は、下塗りよりも貧調合とする。

11　コンクリート壁下地のセメントモルタル塗りにおける1回の塗り厚は、10mm以上とするとよい。

12　セメントモルタル塗りの材料には、風化したセメントを使用してもよい。

13　壁をセメントモルタル塗りで仕上げる場合、上塗りの金鏝仕上げにおいて、鏝を力一杯押さえ込むほど、ひび割れが生じにくくなる。

14　バーチャート(棒線式)工程表は、ネットワーク工程表よりも各関連工事との相互関係が分かりやすい。

15　セメントの保管は、地面に直接置いてもよい。

16　左官工事現場において、セメント等で汚れた水は、下水道に直接流してもよい。

17　手練りは、スコップやくわを用いて混練することである。

18　筋かいは、四辺形に組まれた軸組に対角線状に入れた補剛材である。

19　シーリング材は、建築物を構成する目地部分に水密や気密を目的として充填する材料である。

20　せっこうプラスターは、水と反応して硬化する。

21　生石灰は、水を加えると発熱・膨張するので、注意が必要である。

22　セメントモルタルの練り混ぜ水には、海水を使用してもよい。

23　ラス下地に使用する既調合軽量セメントモルタルは、一般に、現場で水だけを加えて練り混ぜる。

24　外装タイルの凍害を少なくするためには、吸水率の高いタイルを使用するとよい。

25　ALCパネルは、コンクリートよりも吸水性が大きい。

26　SRC 造とは、鉄筋コンクリート造の略称である。

27　通し柱は、木造2階以上の建築物で、土台から軒げたまで一本物で通した柱のことである。

28　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、次図は、出入口一般を表す平面表示記号とされている。



29　建築基準法関係法令によれば、モルタルは、不燃材料とされている。

30　労働安全衛生法関係法令によれば、事業者は、3m以上の高所から物体を投下するときは、適当な投下設備を設け、監視人を置く等労働者の危険を防止するための措置を講じなければならないとされている。